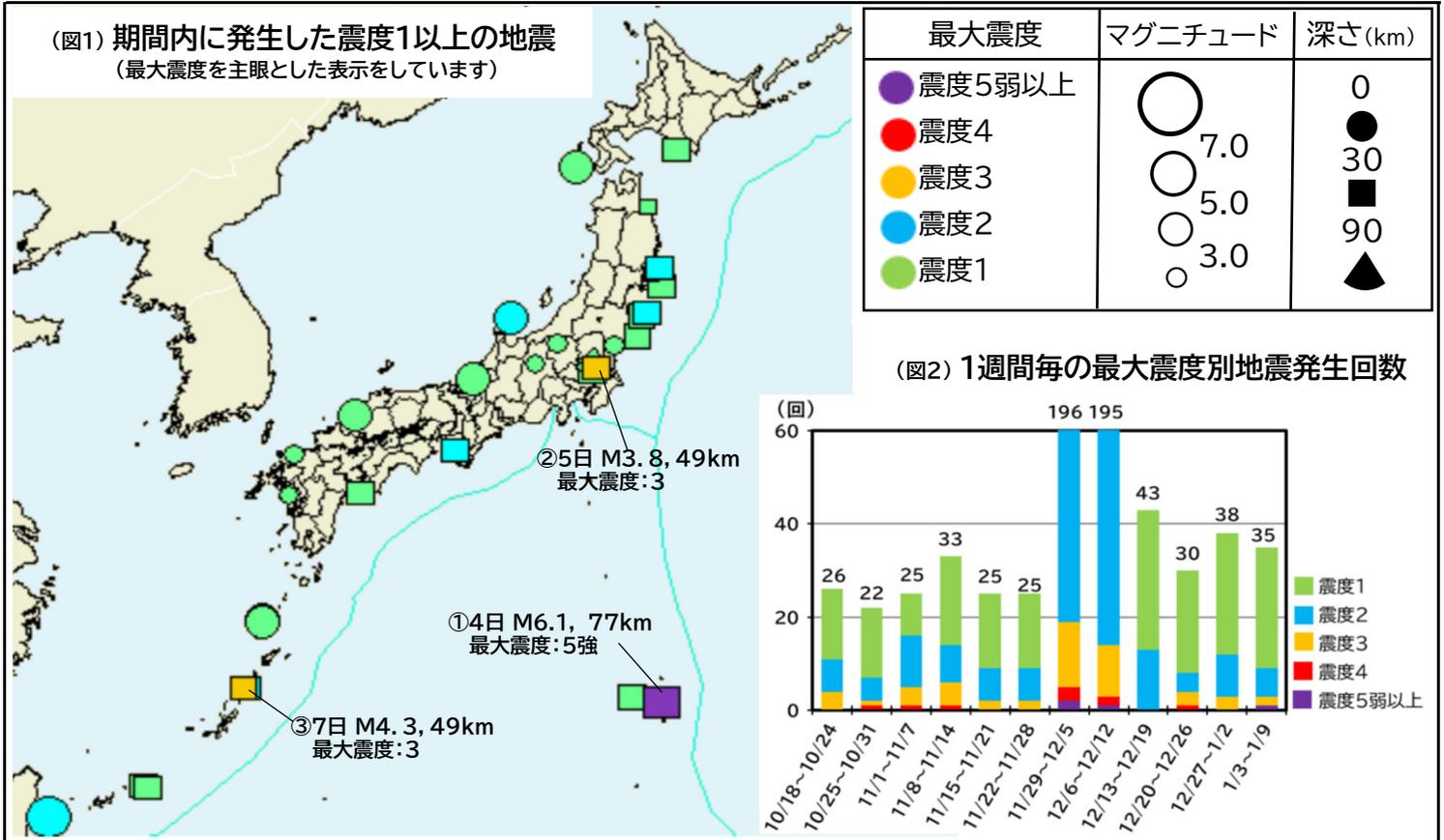


この期間の最大震度は5強(小笠原村母島)

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が35回発生。最大震度は父島近海の地震により母島で観測した震度5強 ■
- ①4日06時08分に父島近海で発生した地震(M6.1、深さ77km)により、東京都小笠原村母島で震度5強を観測したほか、小笠原村母島で震度4を観測。この地震は太平洋プレート内部で発生した横ずれ断層型。(トピックス参照)
- ②5日21時34分に茨城県南部で発生した地震(M3.8、深さ49km)により、茨城県水戸市、笠間市、城里市及び桜川市で震度3を観測したほか、福島県及び関東地方で震度2~1を観測。この地震は、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型。
- ③7日07時24分に沖縄本島近海で発生した地震(M4.3、深さ49km)により、鹿児島県天城町、知名町で震度3を観測したほか、奄美群島から沖縄本島にかけて震度2~1を観測。

トピックス

■ 父島近海の地震活動 ■

- ・父島付近は、フィリピン海プレートと太平洋プレートが接している場所に近ことから活発な地震活動が見られる地域です。
- ・今回の地震は、父島が乗っているフィリピン海プレートの下に、父島東方の伊豆・小笠原海溝から急角度で沈み込んでいる太平洋プレートの内部で発生しました(図3)。
- ・父島近海では太平洋プレートが急角度で沈み込んでいることから、父島近海で発生する地震は地下数キロから700km程度の深い所まで幅広い範囲で発生しています(図3、図4)。
- ・1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近ではM5を超える地震が多く発生し、M6を超える地震も時々発生しています(図4)。
- ・小笠原諸島で震度5強を観測したのは2015年5月30日に発生した小笠原諸島西方沖を震源とする地震(M8.1、深さ682km:母島と静岡県二宮町で震度5強)以来です。
- ・2010年12月22日に発生した地震(M7.4、深さ8km:父島と母島で震度4)では八丈島八重根で0.5m、父島二見で高さ22cmなどの津波を観測しました。

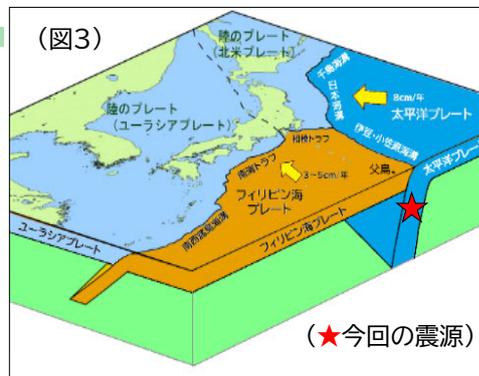


図3:日本付近のプレート概念図 (気象庁HPに加筆) ★は今回の震源

図4:1997年10月以降の震央分布図 (M≥5.0)